

ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C

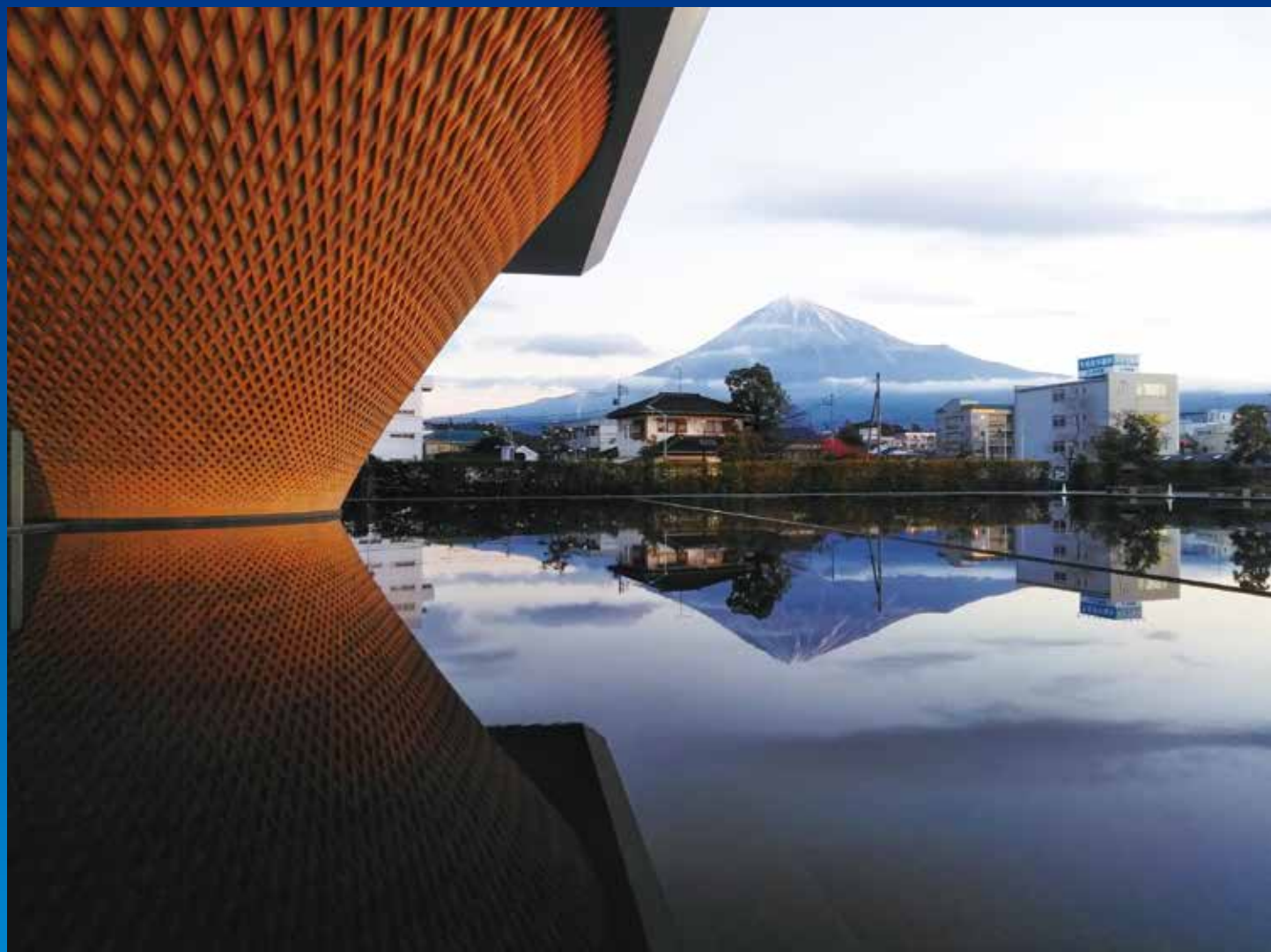


the Lion

- 地区ガバナーアピール
- 地区大会ご案内
- アクティビティ報告
- 事務局だより

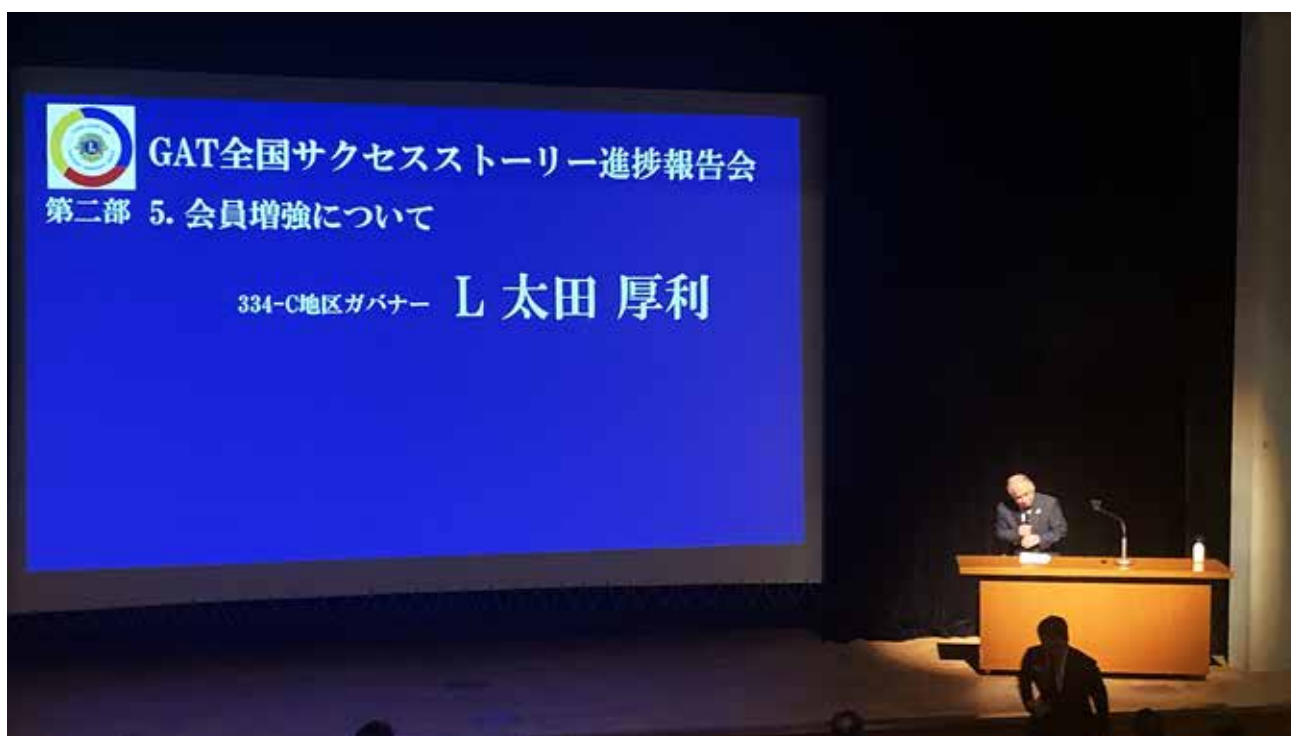
2022-2023

Vol.2



自然と文化

地区ガバナーアピール



地区ガバナー

太田 厚利

新年あけましておめでとうございます。

令和5年を迎えて、早1か月が経過しました。コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻による戦禍は誠に残念なことに終息を見られず、生活面においてもすべての必需品の値上がり等々、大変厳しい年明けとなりましたが、時間はとどまることなく進んでまいります。

今年度の地区ガバナー公式訪問は、三役懇談会のみ実行というゾーンもありましたが、14ゾーン全ての訪問を上半期中に無事終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、下半期を迎えて、今年度の活動も佳境に入る時期となりました。

会員数につきましては12月末地区実績で、年度当初より30名の純増という結果を見ることができました。これも、各クラブ会長各位をはじめとする関係役員皆様のご尽力の賜物と厚く御礼を申し上げます。

あるクラブでは、事業の後継者を家族会員として入会させ、時期を見て世帯主と交代していくという手法で会員の純増を見ていますが、これは、他のクラブにも会員増強の一手段として大いに参考になるのではないかと考えます。

会員増強といえども、ライオンズクラブへの入会はあくまでも「招請」によってのみ可能であり、

ライオンズクラブの本質を理解し、会員として相応しい「善良な特性の持ち主で、地域社会において声望のある成人」に入会いただかなければなりません。

ライオンズクラブは“*We Serve*”のもとに「奉仕こそが使命」と考える会員の集合体であります。私は今年度のアクティビティ・スローガンを「足元を固め 原点回帰 “*We Serve*”」と致しましたが、日本にライオンズクラブが結成されて70周年を迎えた今、ライオンズの本質を改めて認識し、時宜に応えた奉仕活動に邁進を頂きたいとの思いを込めました。

この4月23日には、第69回地区年次大会を開催致します。一年ぶりに地区内会員が相集い、友情を深めて互いの活動を称賛し合う、またとないう機会です。是非多くの皆様にご参加を頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

そして、良い仲間たちと楽しい奉仕に励み、さらに素晴らしい個々のライオンズクラブを創造していこうではありませんか。今年が、会員の皆様にとって実りある豊かな一年になりますよう、心から祈念しております。

SPECIAL EDITION

浜名湖をキレイにしよう！

1 R・1 Z 浜松リバティLC



2022年度の1R1Z8クラブの合同アクティビティは浜松リバティライオンズクラブ（古田隆康会長／28名）が担当となり10月22日（土）「浜名湖弁天島いかり瀬清掃」を実施した。いかり瀬は浜名湖の潮流によって砂が堆積してできた小島であり、近年はペットボトルや流木、マイクロプラスチックなど大小さまざまな海洋ごみが集積している。今回のアクティビティでは、静岡県西部を代表する豊かな自然環境資源「浜名湖」の保全活動の一環として、川や海から漂着した海洋ごみを収集した。初めての試みで試行錯誤の連続だったが、各クラブのメンバーの協力により事故やトラブルもなく無事にアクティビティを終えることができた。

秋晴れの爽やかな晴天に恵まれ、体を動かすと心地よく、まさに活動日和であった。午前9時より渡船場から乗船し、弁天島のシンボルである赤い大鳥居を見上げながら島に上陸すると砂地が続く、その先は草木が茂る小高い丘が広がっている。ゴミを拾いながら少し歩き回っただけで汗ばみ、

ペットボトルやマイクロプラスチック、空き缶などの漂流物でゴミ袋はすぐにいっぱいになってしまった。

浜名湖は海水と淡水が混ざり合う汽水湖で豊富な栄養素が集まるため様々な種類の魚介類が生息している。特にアサリは浜名湖の特産品であるが近年は不漁が続いている。以前は5月を過ぎると潮干狩りを楽しむ人で賑わったが、近年は海洋ごみなどの環境汚染も問題となっており、アサリの生育に悪影響を及ぼしていることが不漁の一因ともいわれている。今回の成果として45Lのごみ袋約50個分のごみを回収した。活動を通じて、身近すぎて見過ごしていた浜名湖の魅力や価値に改めて気付くとともに地域に根差した取り組みを次世代につないでいくことが今後必要だとも感じた。

コロナ禍でもあり今回は地元の小中学生が参加できず大変残念だったが、豊かな自然環境と浜名湖を守るために、今後も活動を継続して実施していきたい。

何となく⇒実感できる事業

1 R ・ 2 Z 磐田 L C



10月9日、今年度で5年連続となるフードドライブが、334-C地区統一奉仕の日に地区73のライオンズクラブの一斉アクティビティとして実施されました。磐田LCでも同日、1R2Zの3クラブ（磐田LC、森町LC、袋井LC）から集められたお米や麺類等の主食から缶詰、レトルト食品、嗜好品、お菓子に至るまで、様々な食料品が磐田に集められ、ワゴン車に乗せられて静岡市の特定非営利活動法人フードバンクふじのくに事務所へ向けて運ばれていきました。

今年度は特に、2年半経過してもまだ感染拡大の波を繰り返す新型コロナに加え、春先からの円高進行・ロシアとウクライナの戦争が影響を及ぼす農作物や燃料等の高騰により多くの物の価格上昇が続き、生きていく為に必要な生活費は膨らむ一方。

更に9月23日～24日にかけて静岡県を襲った台風15号は、県内のあちらこちらに土砂崩れや河川の氾濫、浸水被害をもたらし、多くの傷跡を残しました。水道・電気、橋、道路、

学校等のインフラ設備の損害が多くの人々の日常生活を奪い、社会生活を滞らせる結果となり、どれほど我々がこういったインフラ設備の恩恵にあずかっているのかを痛感させられる事態でした。

今回のフードドライブ事業は、日常的に困難な状況にある人々に加え、台風15号の被災者への水や食料の緊急支援に繋がる、これまで以上にリアルに相手を実感できる活動となりました。これまで、フードドライブは地区主導で何となく行ってきたアクティビティでしたが、一人一人ができることは小さくても、そういう思いを持った人々が集まれば、大きな支援が出来る事を改めて実感させてくれる、まさに“*We Serve*”なアクティビティとなりました。この活動が、SDGsの17の目標の1つでもある「飢餓をゼロに」という大きな目標に向けて、一人一人が「食品ロス削減」という意識を持ち、無理なく続けていける活動として続けていければ良いと思っています。

SPECIAL EDITION

1R3Zチャリティゴルフ大会

1 R ・ 3 Z 三ヶ日 L C



2022年11月21日（月）1R3Z恒例のチャリティゴルフ（今年は三ヶ日LCがホストクラブ）を湖西LC、浜北LC、奥浜名湖LCの4クラブの精鋭22名が集結して浜名湖カントリークラブで開催しました。スタート当初は小雨まじりでしたが、徐々に天気が回復し、絶好のコンディションの中、参加したメンバーはプレイを十分に満喫し懇親を深め、楽しい時間を過ごしました。そして栄えある優勝者は湖西LCの最長老、L奈良でした。おめでとうございます。

さて、賞品はというと優勝者にはZC賞の「三ヶ日牛1kg」。準優勝者には三ヶ日LC会長賞の「三ヶ日みかん10kg」の他、各クラブの会長賞、地区委員賞などがあり、各賞からはずれたメンバーには開催時期が旬の「三ヶ日みかん」を参加賞としてお渡ししました。

今回のチャリティゴルフでは、各クラブからの登録料および参加メンバーからのドネーションやファイン等で18万円強の収益がありました。この収益金のうち10万円は、三ヶ日地区において熱心に奉仕活動を行っているボランティアグループの活動に役立てていただこうと、子育てサークルから老人福祉団体まで精力的に活動している16の会が加盟している「三ヶ日地区社会福祉協議会」に贈呈させていただきました。

また、残りの8万円強は度重なる水害や土砂崩れなどの災害の復旧に少しでも役立てていただきたいとの思いで、「334-C地区緊急災害援助資金積立金口座」に振込みさせていただきました。

第30回献眼者合同慰霊祭の開催

1 R・4 Z 大須賀 L C



ライオンズクラブ国際協会334-C地区1R・2Z、4Z9クラブ（磐田・森町・袋井・豊田・掛川・菊川・大東・御前崎・大須賀）による献眼者合同慰霊祭が2022年10月15日袋井市油山寺本堂において開催された。

この慰霊祭には献眼に協力された23名のご遺族様、来賓として静岡県アイバンク江川博敏常務理事様、掛川市長久保田崇様を始め菊川・磐田・袋井の各市長様のご臨席をいただき、盛大に開催することができた。ライオンズクラブからは太田厚利ガバナーの他、20名の地区役員が出席された。

今回の慰霊祭は、新しく献眼された4名の方が加わり累計236名の献眼者の慰霊祭となった。

コロナ禍のため感染に配慮し、各クラブよりの会員の出席を規制しての開催となった。

献眼者のご遺族を代表されて松永勝代様が挨拶された。献眼に至った経緯、家族の相談・対応等が詳細に報告されると共に深い絆が語られ参加者の心に響いた。

世の中には視力障害により日常生活に支障

をきたし、「一日千秋」の思いで光を求めておられる方々が多数おられる。こうした方々に尊い愛の光をお届けし、人生にこの上ない喜びと希望を享受し、幸福な生活を営んでいただくための献眼は、誰にでも出来る貴重な社会貢献活動である。

静岡県アイバンクだよりにあった沼津市の勸山弘師が云われた言葉「献眼こそ誰でも出来る最後のご奉仕」を想い出した。今回の慰霊祭にあたって事前に打ち合わせ会を実施し、油山寺住職様のご指導のもと、関係市長、ライオンズクラブ役員、各クラブ会員皆様のご支援・ご協力を得て開催することが出来たことを感謝している。

特に以前より懸案事項であった献眼者名の記載された石板の移設、清掃道具用物置を新調したことも記録しておきたい。

今後も献眼に対する考えを新たに、献眼運動がさらに活発になるよう努力したい。

改めて油山寺慰霊碑に祭られる御霊の安寧と、ご遺族様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

SPECIAL EDITION

絆をつないだ 台風15号被災地支援

2 R ・ 1 Z 静岡 L C



2022年9月23日夜から24日未明にかけて、台風15号に伴う猛烈な雨が静岡県内各地を襲いました。静岡ライオンズクラブの本拠地である静岡市でも土砂崩れや道路の冠水、浸水や断水など多くの被害が発生しました。自宅や事業所に土砂が流入したなどの被害を受けたクラブメンバーも多数に上りました。

この状況を受け、静岡ライオンズクラブ災害対策室（平井敏晃室長）を立ち上げ執行部やアラート委員会を中心に9月26日から活動を開始しました。

具体的な活動としては社会福祉協議会と連携して9月29日よりボランティアセンターに合流。静岡市内3か所の拠点において、各被災地で復旧作業を終えたボランティアの方々にペットボトルの飲料を提供するという活動を行いました。

10月1日と8日には静岡駅地下道自由通路にて募金活動を行い、支援企業・他クラブ・メンバー等の協力のもと、静岡市へ義援金・タオル・ペットボトル・ウォーターバッグを、社会福祉協議会へ支援金・ペットボトルを提供しました。

実際に現地に入って災害復旧作業を行った他地域クラブそして静岡ライオンズクラブのメンバーもあり、ボランティアセンター開設以来ほぼ毎日参加の方も多数おられました。

おかげさまで11月13日をもって西ヶ谷ボランティアセンターの活動を終了いたしました。今回の災害を通じ、アラートの重要性、そして何よりも人の愛、絆、勇気など多くのことを学びました。今後も地区ガバナーの思いでもある「時代と地域の求める声に心からの奉仕で応える」を目指し感謝の気持ちを忘れず「We Serve」の精神で活動を続けていきたいと思ひます。

SPECIAL EDITION

第20回静岡市民中学生ソフトボール大会 兼 第3回清水ライオンズクラブ杯争奪

2 R ・ 2 Z 清 水 L C



この大会は清水ライオンズクラブとしては3回目を迎えましたが、20年前から友好クラブだった清水みなとライオンズクラブが青少年育成事業として運営をしてきました。しかし残念ながら解散に至り、当クラブとしては青少年育成事業をなくしてはならないと3年前から引き継ぎをし、運営は清水みなとライオンズクラブの1部のメンバーの転籍を得、清水ソフトボール協会の全面的協力を得て実施に至りました。

会場は三保半島の先端にほど近く、水平線に近い位置にあり駿河湾を挟んで海岸線を西から袖師、興津、由比、蒲原の街並みを一気に眺め、後方に雪を頂いた雄大な富士の山全容が飛び込んでくるところにあり、ソフトボールの競技が二面同時に試合できる設備が整っており、また周辺には軟式野球場、トイレ設備も整っている静岡市が管理するグラウンドです。

静岡市内6中学校から女子ソフトボールチームの参加を得て、1回戦は2グループに別け、3チームのリーグ戦で上位2位が2回目にトーナメントで勝敗を決めた。

●1日目；11月27日(日)

Aグループ…打撃で圧勝してきたオール長田

が1位、2位には清水七中、3位は東豊田中。Bグループ…やはり打撃戦で勝ち抜いてきた静岡南中、2位は清水飯田中、3位は清水二中。

●2日目；12月3日(土)

準決勝第1試合目はオール長田対清水飯田中の組合せとなり、1回戦で見た打撃が猛攻となりオール長田が決勝に進んだ。

準決勝第2試合目は清水七中対静岡南中となり攻撃力の勝る静岡南中が決勝に進んだ。

決勝戦は1回目から攻撃力と無失点で強さをいかんなく発揮したオール長田が優勝旗を手にした。3位には清水飯田中対清水七中は打撃戦となり12対11で清水飯田中が制した。

リーグ戦で敗退した静岡東豊田中、清水二中はともに1年生が主体のチームでこれからのチーム作りに期待が込められた。

数少ない中学生のソフトボール対抗試合ができ、体験された生徒に貴重な思い出の時間を提供できたことに健康的な育成事業であったと思います。参加校関係者、ソフトボール協会の皆様と応援して下さいました保護者に無事怪我もなく大会が終了したことに感謝申し上げます。

SPECIAL EDITION

親子の自然観察会

2 R ・ 3 Z 焼津 L C



私達の焼津市は、旧くより知られた遠洋漁業の基地として、また獲れたカツオ・マグロを材料にした水産加工業が盛んな街であります。

目の前には駿河湾が広がり、背後には3,000mを超す南アルプスの連嶺が望める絶景の街でもあります。

このように恵まれた環境にありながら、近頃は子供達が海や野山で遊ぶ姿を見かけることがなくなり、随分とこの街の将来に懸念が募ってきておりました。

この街の未来を託す子供達が、閉塞した家の中でゲームなどに耽ることなく、自分達を取り囲む自然の中で伸び伸びと、様々な動植物に触れたり自然の不思議さに感動したり生きる知恵を学んでいって欲しいと願っておりました。

幸い、焼津市が大井川水系添いに「自然生態観察公園」と銘打って、水辺の草原の中の木道、カシ類の喬木の中のプロムナード、湧き水の池のある自然観察公園を造りましたので、これを

絶好の機会と捉えて、是非とも親子で参加してもらい、タモを持って昆虫を追い掛け、ドングリ拾いや竹細工、クラフト作りを体験してもらうべく、対象を小学低学年生100名程度に絞って「親子で楽しむ自然観察会」を年に1回開催しております。

幸いクラブには「ピオトープ」が専門のメンバーがおりますので、彼らが講師となって、自然の中で遊び発見する喜びや驚き、昆虫の生態観察を体験してもらっております。

参加された親御さんからは、「もっと参加人数を増やして欲しい」「こんな機会をずっと続けていって欲しい」「子供会単位でも開催して欲しい」との好評価を受け、それなりのご奉仕が出来ているのではないかと感じております。

今後も継続して、子供達とその親御さん達に身近な自然に触れて戴き、その存在あってこそ私達であることを感じて戴ければ、望外の幸いと願っております。

健康講座「人生100年時代、一生介護されない体をめざそう」

2R・4Z 5LC（合同アクティビティ）

静岡駿府・静岡けやき・静岡リバティ・静岡弥生・静岡巽



わが国は世界に先駆けて、2007年より人口の21%が65歳以上の高齢者が占める超高齢社会に突入し健康への関心がますます高まるなか、健康寿命日本一をめざす静岡県ではさまざまな取り組みがなされている。2016年度から「ふじのくに健康づくり推進事業所」制度を導入し、「従業員の健康に投資して医療費の削減だけでなく、生産性向上や組織活性化に努め企業の成長につなげる」という考えのもと、企業が従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」を推進している。また“お達者度”として65歳から元気で自立して暮らせる期間を算出し、いつまでも元気で社会貢献を続けるためには、高血圧、糖尿病、肥満や認知症などの生活習慣病への罹患リスクを減らす日々の生活習慣の大切さを啓発している。

私たちライオンズクラブは、メンバーの健康はもちろんのこと、従業員や一般市民に広く健康・福祉について啓蒙することも社会奉仕のひとつと考え、静岡市内で健康運動を啓発している。

NPO法人「くすり・たべもの・からだの協議会」との共催により、9月24日14時より静岡市内のグランシップにおいて健康講座を開催した。

ハイブリッド講演会により、聖隷健康サポートセンター長で産婦人科医の鈴木美香先生は生後からの各ライフステージのヘルスケアが、また静岡市内の田中消化器科クリニック理事長の田中 孝先生は食・栄養、運動や休養・睡眠などの生活習慣が免疫力・自然治癒力を高め健康維持や病気の予防と治療、そして抗加齢に重要であることについて、具体例を提示して解説された。

前日の台風15号の大雨による静岡市内の浸水や停電などの被害にもかかわらず、オンライン配信の参加者も含め200名を超える多くの市民が熱心に聴講されたことから健康・福祉のための奉仕活動の重要性を痛感した。SDGsの17目標：「3.すべての人に健康と福祉を」の奉仕活動を今後も継続したいと考えている。

SPECIAL EDITION

沼津5LCライオンズ文庫及び 「ぬまづ昔ばなし」再編出版への協賛

3 R ・ 1 Z 沼津5 L C



沼津5LC合同事業（沼津・沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河ライオンズ）青少年健全育成事業として沼津市内全小学校の子ども達に欲しい本を選んでもらい、届けている取り組みを「ライオンズ文庫」寄贈として一昨年から行っています。

コロナ禍において事業の中止が多々あり、そんな中でも何かできる事業はないかと5LCで話し合い、沼津市長・教育長と相談をして取り組んだ事業です。

又本年度は、沼津5LC合同事業として青少年健全育成事業 沼津市内に残る地域独自に伝わる昔話民話をまとめた「ぬまづ昔ばなし」を絵本形式に再編集する再編出版プロジェクトに、沼津5LCとしてe-monogatari(えものがたり)の代表青木一代表に協賛金を贈呈致しました。

この取り組みは、沼津社会化研究会が1974年（昭和49年）に第1集、82年（昭和57年）に第2集を出版した中から、1話1冊形式で年4回程度発行されるもので、紙書籍は小中学校の図書館や市立図書館、地区センター図書室に無償配布し、小中学校には1

人1台端末が整備されている状況を踏まえて、パソコン・タブレット等の端末から、無料でデジタル書籍を閲覧できるようにし、小中学校児童生徒に限らず、市内外のどなたでも閲覧できるようになっています。

地域の子供達がいつでも、どこでも費用の負担なく読める形を「地域の大人が地域の子供を支える。未来の沼津を担う郷土愛あふれる地域人に育てること」の意義を伝えていきたいというプロジェクトだそうです。今年8月に第1弾として第四地区の昔話「天狗のすもう」が出版され沼津香陵ライオンズが単独で協賛しました。とても良い取り組みなので沼津全体の事として他クラブの応援を頂き、皆で応援したいと思い第2弾 浮島地区の昔話「いちよう観音」は沼津・沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河ライオンズクラブの5LCで協賛しました。

子ども達に大いに本を読んでもらい、学びへの役立ちや、未来の沼津を担う、沼津への郷土愛あふれる地域人を育てるお手伝いになればとの思いを込め始めた事業です。

「地区73クラブ統一奉仕の日」

報道関係者との懇談会&富士市の取り組み後援会の開催

3R・2Z 5LC

富士吉原・富士岳南・富士タカオカ・富士中央・富士マウント



3R・2Z 5LCは、ライオンズクラブ国際協会334-C地区（太田厚利ガバナー）主催の「フードライブ」子ども達の貧困に向き合う事業（静岡県内14地域、73クラブが5年継続開催）について、富士市の現状を深く知る為の講演会とそれを広く地域に知って貰う為の報道関係者との懇談会を、下記の通り開催しました。

日 時：2022年10月9日（日）

場 所：富士商工会議所 会議室

9：30報道関係者との懇談会

報道関係者との懇談会では

静岡新聞社、岳南朝日新聞社の2社の参加

①報道関係者の紹介

②各クラブ会長挨拶と年間計画紹介

③報道関係者より、報道に取り上げて頂く為のポイントアドバイス。

④各クラブMC委員長より、自己紹介と質疑

10：00 講演では

富士市ユニバーサル就労支援センター長 三好泰枝 氏

「富士市のユニバーサル就労」について

富士市は、様々な理由により働きたくても働くことができないすべての富士市民が働けるまち、生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して「富士市ユニバーサル就労支援センター」を設立し、下記の事業をスタートさせました。

子ども達の貧困を救うには、親の自立の為の支援が必要です。

食糧支援を第一次的な支援として、第二次的に、仕事の事、生活の事、お金のやりくりのこと、さまざまな相談に対応しています。

仕事の事では、適職診断、キャリアカウンセリング、職場見学、就労体験等、職場定着支援。その為の協力企業の開拓に力を入れ、マッチングにライオンズクラブメンバーの協力依頼を頂いた。

贈呈式：富士市と地区本部に贈呈式終了。

SPECIAL EDITION

統一奉仕の日

3 R ・ 3 Z 裾野 L C



10月9日（日）地区73クラブ統一奉仕の日に、3R3Zにおいても管内5クラブのメンバーから、県下各ゾーンの中では2番目の重量とな656.99キログラムもの寄贈品を、各クラブの代表者がZCであるL渡邊の会社へ持ち寄っていただきました。

各クラブそれぞれ例会等を活用して、メンバー各位に熱心に呼び掛けていただいたこともあり、例年以上に大量の食料品が寄せられました。

当ゾーンのメンバーには農家を営んでいる方も何人かおり、丹精込めて収穫された米が多く寄贈されたのがとても印象的でした。

午後1時過ぎに、認定NPO法人「フードバンクふじのくに」の担当者が収集に訪れるのに合わせ、ゾーン内各クラブの代表者がそれぞれ持ち寄った食料品を大型トラックに積み込みました。

溢れんばかりにトラック内に積み上げられた寄贈の食糧品を背に、全員で記念撮影を行いました。参加してくれた各クラブの代表者は、ひとり一人の小さな善意の積み重ねにより、大変多くの寄贈品が集まった

ことに驚くとともに、この事業の大切さを十分に認識してくれたと確信しました。

静岡新聞の記者が、トラックの到着に合わせ取材に訪れてくれ、翌日記事として掲載してくれたのは大変ありがたかったです。地域の方々に我々の活動の一端を紹介することが出来たことは、ライオンズ活動にとっても大変有意義なことだと思います。

長引くコロナ禍やウクライナでの戦火の影響もあり、食料品はもとよりあらゆるものの値上げラッシュが続いています。厳しい生活状況下にある家庭が社会問題になっていますが、我々の活動が少しでも社会の貧困対策の一助となることを期待しています。

さらに、今回の新聞報道等を通じて地域社会の善意を呼び起こし、温かい支援の輪に繋がっていただければ幸いです。

10月第1「合同アクティビティ例会」

3 R ・ 4 Z 富士宮中央 L C



私たち富士宮中央ライオンズクラブは30年以上前から特定非営利活動法人（以前の授産施設）愛の丘を利用されている方々、及びその家族、スタッフとさまざまな活動を共にしてきました。そのうちの一つに、2003年3月に富士山登山道沿いに開園した「富士山さくらの園」での合同アクティビティがあります。

2002年、当クラブCN20周年記念事業として同園へ桜の木180本を寄贈したのを機に、夏には愛の丘スタッフと草刈り作業、秋には利用者さん達も交えて草刈り等の作業、その後バーベキューを一緒に楽しみ交流を図っています。

CN25周年には園内に四阿を設置、35周年には通路脇に花壇作りを行いました。愛の丘の方々の関わりも時期により変わっていますが、この花壇作りを機に、最近は毎月の花壇整備、さらには年に数回花の植え替えを行っています。当クラブでは毎年事業費より愛の丘様へ花壇整備委託費及び花苗代を拠出させていただいています。

10月第1例会は「アクティビティ例会」として愛の丘の方々と草刈り、花壇整備を行った後、利用者の方々とクラブメンバーと一緒に公園内で「ペタンク」等の競技を楽しく行い、その後バーベキューをみんなで楽しむのが恒例となっています。

コロナ禍のため2年ほどはメンバーとスタッフだけの作業を行うだけになっていましたが、今期は久々に利用者の方々とペタンク、バーベキューを楽しむことが出来ました。

当クラブの腕利きたちが作るバーベキューもさることながら愛の丘スタッフ手作りのラッキョウや「ゆで落花生」さらには利用者さんたちの作ったカラフルなたわし等も毎年いただき、体も心も気持ちよくなる例会です。これからも長く続けていけることを願っています。

SPECIAL EDITION

フジバカマ植栽・アサギマダラ自然観察

4 R・1 Z 伊東 L C



伊東ライオンズクラブSDGs（持続可能な開発目標）計画事業。

フジバカマ（キク科）

秋の七草のひとつで、「藤袴」として秋の季語になり、葉や茎を乾かした際に放つ芳香で中国では蘭草・香水蘭と呼ばれ、入浴時に湯に浮かべられていたようです。

現在は絶滅の危機にある植物の1つです。

アサギマダラ（タテハチョウ科）

前翅長60～100mmの可憐なチョウです。アサギマダラの「アサギ（浅葱）」は青緑色の古い呼び名で、翅の薄水色に由来しています。幼虫は「キジョラン」など、ガガイモ類の葉を吸蜜することが多く分布域は、日本全土から朝鮮半島、中国、台湾、ヒマラヤ山脈までの地域です。

蝶がフジバカマの蜜を好むのは、鳥などの外敵から身を守る為に毒を体内に蓄えるためではないかと考えられているようです。優美乱舞する蜜を求めて羽ばたく姿は、インスタグラムをはじめとするSNSでも良く映えます。

アサギマダラは、翅を持ち、旅をすることでも知られています。本州や南西諸島、台湾など長距離を移動し、マーキング調査などでは、直線距離で2,000kmも移動した記録があります。

謎に満ちた、旅する蝶たちがこうして立ち寄ることができるのは、この地に豊かな自然があるという証です。この大切な自然を守り、未来に残していくために、このような観察会を通じて、たくさんの人々や、未来を担う子どもたちが、森や自然に触れ、森と緑をリソースとして事業と社会課題の解決を結び付け、持続可能な開発目標、事業活動を通じて社会的な課題の解決を目指す共通価値創造を基にし、森のアクティビティやグランピングといった利用目的だけでなく、地域の共有財産である森との調和やサステナビリティを包含し、地域住民一体となった地域課題解決・自然保護を目指したSDGsの取り組みをフジバカマの育成とアサギマダラ飛来 of 自然観察の体験を通して心が芽生えてほしいです。

SPECIAL EDITION

4R2Z合同／地区統一アクティビティ 「フードドライブ」

4R・2Z 三島LC



現在の日本においては、物質的な豊かさが満たされる社会となってきました。しかしながら小中学生の5人にひとりには3度の食事が困難な家庭があるのも現実であります。

三島ライオズクラブでは、民間ボランティアで実績がある「お玉ちゃん食堂」（押田代表）の支援と協力を行っています。支援の内容は主に資金援助であります。今後さらに支援を広げていきたいと考えております。

例年行っておりますフードバンクの呼びかけに、当会としては約10ケースの寄贈をすることができました。不要な食材を呼びかけましたが、会員からは購入してご用意をしてくださった方が殆どであります。このような活動を定期的なシステムとして、コンビニやスーパーなどと連携して実施することが望ましいと考えています。

今回の支援が、有効かつ支援を求めているお子様方に喜んでいただけたら幸いです。

ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区

第69回年次大会へのお誘い

地区内メンバーの皆様方には穏やかな陽光の中、気持ちも新たに令和5年の新春を迎えられたことと拝察いたします。また、常日頃からライオニズム高揚の為您精進を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様既にご承知のとおり、第69回地区年次大会は、来る4月23日（日）磐田市・磐田市民文化会館「かたりあ」を会場に開催致します。

今年度当初「足元を固め 原点回帰 "We Serve"」の地区スローガンをご提示申し上げました。

これは、ライオンズクラブが日本に結成されて70年を迎えた今、社会奉仕団体として永い航海を続けてきた私たちですが、この機に今一度原点に立ちかえり、明るい未来のライオンズ像を見据えて足元を固め、改めて新たな奉仕の旅に船出をするべき時に来ていると考えたからであります。各クラブにおかれてはこのスローガンに沿った活動を実施いただいている事に心より感謝申し上げます。

地区年次大会は地区内73クラブのこの一年間の奉仕活動の集大成の場であると同時に、久しぶりに地区内メンバーが相集い、奉仕活動を振り返り、讃え合って、和やかな交流の下に次年度の一層の活躍を期する場でもあります。コロナ禍とロシアの侵攻によるウクライナの戦禍は残念ながら終息を見られず厳しい社会環境の中ではありますが、慎重な感染対策を実施するなど、大会関係役員一同鋭意準備に努めておりますので、是非多くの皆様にご参加をいただきたくご案内を申し上げます。式典後のアトラクションでは、ヤマハ・スウィングパーク・ジャズオーケストラのライブ演奏をお届けいたします。この演奏会には、音楽に携わっている地元の中・高校生と市民の方々もご招待します。

春爛漫の3月15日「記念チャリティゴルフ大会」への奮ってのご参加と、新緑の4月23日「地区年次大会」へのご来駕を心より、心よりお待ちしております。

ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区第69回年次大会



大会会長・地区ガバナー
太田 厚利



年次大会委員長
出崎 芳孝

第69回地区年次大会プログラム

**3/15
(水)**

第69回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会

■と ころ/ザ・フォレストカントリークラブ
周智郡森町橋576-3 TEL 0538-85-4141

■受 付/午前7時00分～

■参加登録料/ 5,000円

■プレイ代/ 11,000円予定(食事付・セルフプレー)

※詳細は別紙ご案内を参照願います。



**4/23
(日)**

地区年次大会；会場 磐田市・磐田市民文化会館「かたりあ」

磐田市上新屋 678-1 TEL 0538-37-8550

1. 委員会〈資格証明・議事運営、指名選挙〉

■と き/登録受付 12:30~12:40
委 員 会 12:40~12:50

■と ころ/かたりあ・創造活動室 3

2. 代議員会

■と き/登録受付・投票 12:30~13:10
代 議 員 会 13:30~13:50

■と ころ/かたりあ・大ホール

3. 大会式典／アトラクション

■と き/登 録 受 付 12:30~13:50
大 会 式 典 14:00~15:30
アトラクション 15:30~16:00

◇ヤマハ「スウィングパーク・ジャズオーケストラ」

■と ころ/かたりあ・大ホール



*アトラクションのご紹介

ヤマハ「スウィングパーク・ジャズオーケストラ」

は 2013 年、ヤマハの埼玉工場と磐田工場の統合に伴い社員で結成されたジャズバンドです。

ビッグバンドジャズをベースに、幅広い年代に楽しめる演奏で地域貢献を念頭に活躍しています。



INFORMATION

事務局だより

2022～2023年度 第3回キャビネット会議報告

2022～2023年度第3回キャビネット会議が1月27日(金)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。



キャビネット会議会場

《協議事項》

1. 2022～2023年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー実施について
3. 第69回地区年次大会・議事規則・代議員議事運営構成表・各案と、当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
4. 第69回地区年次大会実行表改訂・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
5. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに、次期キャビネット幹事・会計予定者について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開されます。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局又はキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2023年春季・夏季YCEプログラムは中止

全世界コロナ禍の影響によりYCEプログラムは全面中止となります。

2023年2月～地区キャビネットスケジュール

- 3/10(金) 第4回ガバナーチーム会議 年次表彰最終審査会
- 3/15(水) 第69回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会
- 3/23(木) 第4回キャビネット会議
- 4/24(日) 第68回地区年次大会
- 5/15(月) 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー
- 5/21(日) 第69回334複合地区年次大会

◆表紙について

今年度のテーマは「文化」です。



自然と文化

2022年8月～2023年1月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ	逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
8月 1日	L 土屋 幹夫 (下田LC)		9月28日	L 勝又 志延 (富士吉原LC)	
8月13日	L 柴田 保雄 (島田LC)		10月 7日	L 高橋 成彰 (御殿場LC)	
8月14日	L 村山 洋子 (下田LC)		10月11日	L 千綿 秀麿 (静岡橋LC)	
8月16日	L 加藤 睦 (下田LC)		10月13日	L 久保田 進吾 (浜松南LC)	
8月20日	L 松井 富士雄 (森町LC)		10月24日	L 川口 幸雄 (葦山LC)	
8月21日	L 大場 たつ子 (森町LC)		10月26日	L 小林 幹延 (榛南LC)	
9月 4日	L 山崎 勝正 (御殿場LC)		12月26日	L 原 政行 (浜松さくらLC)	
9月11日	L 坪口 茂三 (御殿場LC)		12月28日	L 長須賀 恒雄 (小山LC)	
9月26日	L 落合 盛夫 (島田LC)		1月 5日	L 岩崎 琢哉 (浜松LC)	
			1月10日	L 加藤 寛治 (葦山LC)	